

近畿・四国

◇ 大阪支社 ◇
大阪市中央区淡路町 3-2-8
トア第2ビル5F
☎06(6231)8036
FAX06(6231)8039

学校体育館にGHP

西宮市長に要望

協部
庫支
兵阪

兵庫県LPガス協会阪神支部は15日、金澤嘉彦支部長と支部会員の高山敬氏が石井登志郎・西宮市長と面談し、市立小中学校体育館へのGHP空調、避難所となる小中学校給食設備へのLPガス機器の導入を要望した。



石井登志郎市長（右）に要望書を手渡す金澤嘉彦支部長と高山敬氏

給食施設に機器も

阪神支部は2013年に西宮市と災害時のエネルギー供給協定を締結、昨年12月には市議会でのLPガス使用を求める請願が採択された。市議会は同月、全市立学校体育館への空調設置の19年度からの開始を求める議決をしている。

高山氏は「体育館に空調を導入する際に、燃料としてLPガスも入れていただきたい」と要望した。LPガス仕様GHP

の利点として分散型エネルギーの特徴を示し▽電源自立型であれば停電時も空調に加え一定の電力供給ができる▽LPガスの軒先在庫を炊き出しなどにも使える▽消費電力がEHPの10分の1以下なので受電設備の削減や契約電力の低減が可能――と指摘した。

金澤支部長は箕面市が都市ガスエリアの学校体育館にLPガスGHPを全面採用した例を挙げ、「導管供給の都市ガスは災害に脆弱な面がある。総合的なコストも優位性がありLPガスが採用された」と説明。昨年、台風21号上陸時に有効活用されたことを紹介した。石井市長は「体育館の空調についてじっくり検討している」と述べ、市職員が箕面市を見学し、コスト面を含め情報収集していると説明した。